

# 一心太助の天秤棒

～前の籠には責任を、後の籠には信頼を、  
肩に担いで売り歩く～



越谷市議員 白川 ひでつぐ  
シリーズ NO 10

## 駅頭は小さなドラマの連続だ！

(当選から14年間毎日続ける駅頭は、2600回を超えた。私のツイッターのつぶやきから、転載したものを含め、駅前での様々な市民との出会いのエピソード集)

### 早朝からサラリーマン同士のいさかいが

一昨日の朝駅頭は、せんげん台駅東口で、いつもの様に午前5時30分から開始した。

前夜からの曇り空のため、今にも雨が降ってきてそうだったが、案の定午前6時過ぎには雨が降り始め街宣用の看板や机が濡れたため、直ぐに撤去。

幟だけはタクシー乗り場の屋根付き施設の中に設置した。

通勤客も傘をさして来る人、傘を持って来る人など様々だ。

するとエスカレーターを利用していた40代前半の男性が、大きな声で「あやまれ」と傍にいた20代の男性に言い寄った。

しかし、その20代の男性は何も言わずエスカレーターの右端を急いで登っていった。

すると再度「あやまれ」との声。

朝から嫌な空気が、周辺を覆ってしまった。何があったのかは想像の域だ。恐らく傘が原因で雨滴が飛び散ったのか、傘があたったのか。近年特にサラリーマン同士の小さいいさかいをよく見かける。

双方に一寸した気持ちの余裕があれば何も起こらない位の出来事だろうに。

こんな風に精神が分断されている。

(8月30日)

### 朝の通勤時間帯は、あまり大きな声ではない

今日の朝駅頭は、越谷駅東口で午前6時から開始。すると元市議員が夫婦で山登りの服装

で6時30分過ぎに話し掛けられた。

「元気がないんじゃないのー、うーん元気がないよ」と。

私の体調は良好だし、全くいつもと変わらない。そのため挨拶を交わす市民の誰一人からもそんな言葉は出ていない。

恐らく、この元議員は市役所前で朝街宣を時々実施していたが、マイクを使っただけの演説スタイルだったため、それに比べて”元気がない”と感じたのだろう。

しかし私のスタイルは、朝6時から大きなマイクを使うのは、逆効果で、静かにしかも自然体で通勤客と接することに、14年間徹して来た。

注意をして頂いたのだけれど、そもそもこの元議員とは在任中から全く姿勢も思考も性格も相容れない関係が最後まで続き、ことごとく意見が対立した。

それでも関心を持って頂いたのだから一つの意見として受け止め、通常通り市政レポートの配布を続けた。

すると、午前7時過ぎにタクシー乗り場に集まっていた高校生の一人から尋ねられた。

越谷市の総合グラウンド場のバス停は何処ですか、と。

世田谷区にある松原高校の野球部の部員達で、草加市の高校と練習試合に向かうとの事。

へー、都内の野球部が越谷市で試合をするのかー、がんばれ来年の甲子園に向けて、と励ました。

更に午前8時頃、馴染みの40台後半のサラリーマンが。

一旦挨拶をして通り過ぎて戻って来て、ペットボトルの差し入れに。この間毎回越谷駅東口の駅頭では、同じ様にして頂いている。

本当に心に沁みる。更に馴染みの同じ様に礼儀正しい40代後半のサラリーマンから、5000円のカンパを。

半年に一回必ず同額のカンパを頂いて、10年になるだろうか。いつも沁みいつている。

(8月31日)

### 駅付のタクシー運転手と客のやり取り

今朝の朝駅頭の越谷駅前での、タクシー乗り場での出来事。午前7時30分過ぎ最寄りの派出所の警官が走って来て、客待ちの運転手に話し掛けた。

(裏へ)

隣の大きなもう一つのロータリーにタクシーを回して欲しい、利用客がいるので、と。

10分後遠くで様子を見てみると20代の若い女性と10代の男性が、回って来てドアを開けたタクシーに、乗り込もうとしていた。

しかし、何か警官と3人話をしていたが結局乗らずに、電車の改札に歩いて来た。

気分が悪くなったのか、行き先が変更になったのかは、知る由もないが警官が付き添うからにはそれなりの事情があったはずだ。

ただ件の運転手は車を回しても客がつかないことに。

駅待ちのタクシーにはキチンとしたルールがあり順番で先頭のタクシーだけが乗り場一台で待機が出来る。

つまり件の運転手は戻って来て最後列に並ぶ事になり時間のロスで、稼ぎに影響が出る事になる。

小さな稼ぎの積み重ねで、生計を立てるタクシー運転手。

元タクシー運転手の私は複雑な心境に。

午前8時30分前、30代前半の酩酊状態の二人の男性が、タクシー運転手に話し掛けたが、直ぐに乗車を断られた。

すると、次のタクシー運転手に、更に断られてその次と、何と4台ものタクシーにふらふらしながら交渉しているが、断り続けられる。

そこで、私から最初の運転手さんに事情を聞いてみた。すると、その男性二人は3000円を限度に、ある所を指定。

しかし、その場所はとても3000円では乗車賃には不足する、とのこと。

だから、次々とタクシー運転手をつかまえて交渉したが、全て断られていたと分かった。

結局、諦めたのか一人の男性だけがタクシーで姿を消した。白タクではない実証例。

(8月31日)

## 久しぶりですね。元気ですか？

今朝の駅頭は大袋駅西口で、午前6時前から開始。1時間程の間に中年の2人の女性から、久しぶりですね。元気ですか？と声を掛けられた。

この駅での駅頭は確かに1か月ぶりだろうか。

毎日市内6駅の東西口を順次に駅頭を続けているため、通常は1駅、月最低2回のペースで実施して来た。

だが、先月は私が代表の会派自治みらいの市政報告の駅頭に続き、行政調査や、配布するチラシの内容で駅が重複したり、台風や雨のため中断もあった。

すでに14年間も駅頭を実施していると、市民にとって1か月の空白は、久しぶりという感覚なのだろう。日常の見慣れた風景になっているのかも。

また、市政レポートを受け取った高齢の女性から勉強します、と丁寧な挨拶が。

こんな早朝から仕事か用事なのかは、分からないが高齢者の方からよく声を掛けて頂く。

(9月1日)

## 午後11時まで活動するのは、気にいらぬ

昨日の夜の駅頭は、せんげん台西口で午後7時から午前0時まで実施した。

いつもの様に、電車の到着と共に、市民が階段を下りて来る中、自ら手を差し出しご苦労様と挨拶する市民が目立つ。

だが、午後11時過ぎに眉間にしわを寄せ、顔を横に振りながら、私の横を通過して行った30代前後の女性が。

丁度午後11時きっかりの時間で、「時計は午後11時になりました。気を付けてお帰り下さい」と通勤客に呼びかけて市政レポートを配布していた。

すると、「午後11時なんだから、おかしいよ」と、件の女性から捨て台詞が。

勿論、私と顔を合わせるわけでない。

何がおかしいのか？こんなに夜遅くまで活動することなのか、選挙中でないからか。

市政の報告に時間の制限はない。ただ市民の迷惑や不快感がないように、常に配慮している。

時折団塊の男性から、同じ様な捨て台詞を吐かれるが、こんな若い女性は初めてだった。

恐らく行き場のないささくれた気持ちや政治家への不信感なのだろう。仕事や生活に追い詰められているのだろうか。

(9月3日)

